

令和 8 年 4 月 17 日
防災局原子力安全対策課

**柏崎刈羽原子力発電所 6 号機の起動工程の
状況等をお知らせします。**

柏崎刈羽原子力発電所 6 号機の起動工程の状況および、県が実施している発電所周辺の環境放射線モニタリング結果等を以下のとおりお知らせします。

- 別紙 1 柏崎刈羽原子力発電所 6 号機の起動状況
- 別紙 2 柏崎刈羽原子力発電所周辺の環境放射線モニタリング結果
- 別紙 3 6 号機起動工程に係る状況確認の結果

なお、県が実施している放射線モニタリングでは、異常な値は検出されていません。発電所周辺の県放射線モニタリングの状況はこちらからご覧いただけます。

<http://housyasen.pref.niigata.lg.jp/>

※ 4月16日、総合負荷性能検査が終了し、営業運転までの全ての検査は終了しました。

そのため、発電所の監視を通常の状態に戻し、これまで公表していた起動状況やモニタリング結果のお知らせは本日で終了します。

本件についてのお問い合わせ先

原子力安全調整監 石山

(直通) 025-282-1693 (内線) 6460

課長補佐 春日

(直通) 025-282-1639 (内線) 6463

柏崎刈羽原子力発電所 6 号機の起動状況

4月15日 午後5時 ～ 4月16日 午後4時までの実施内容（実績）

項 目	状 況	結 果・対 応
○総合負荷性能検査	実施中・ 済 良	調整実施・評価中

対応状況等

- 総合負荷性能検査：4月16日 午前6時40分から午前11時51分 実施
- 営業運転開始：4月16日 午後4時00分
- プラント状態は安定しており、外部への放射能の影響なし

4月17日 午前9時現在の状況

原子炉	運転中 ・停止中	炉内圧力 7.07MPa	
タービン	運転中 ・停止中		
発電機	発電出力 1413MW		
復水器	取水温度 13.0℃	温度差 5.9℃	
冷却水 ※	放水温度 18.9℃		

備 考

- ・営業運転に入りましたので、本日をもって日報を終了いたします。

※リアルタイムデータでもご確認いただけます。 (<https://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/realtime/cw-j.html>)

柏崎刈羽原子力発電所周辺の環境放射線モニタリング結果

4月17日（金）9時現在、モニタリング結果に異常はみられませんでした。

1 空間放射線量率（9時現在）

測定地点		測定値 ($\mu\text{Sv/h}$)	通常の測定値範囲 ($\mu\text{Sv/h}$)	備考
常時 監視 (発電所 周辺 監視 調査)	放 射 線 監 視 局	1 柏崎市街局	0.037	0.016～0.16 降雨により 一時的に値 が上昇する ことがあります。 (次頁説明参照)
		2 荒浜局	0.035	
		3 下高町局	0.038	
		4 刈羽局	0.035	
		5 勝山局	0.033	
		6 宮川局	0.037	
		7 西山局	0.037	
		8 赤田町方局	0.037	
		9 土合局	0.033	
		10 発電所南局	0.034	
		11 発電所北局	0.033	
監視 強化	可 搬 型 MP	荒浜コミュニティセンター	0.026	0.016～0.16 降雨により 一時的に値 が上昇する ことがあります。 (次頁説明参照)
		大湊局	0.018	

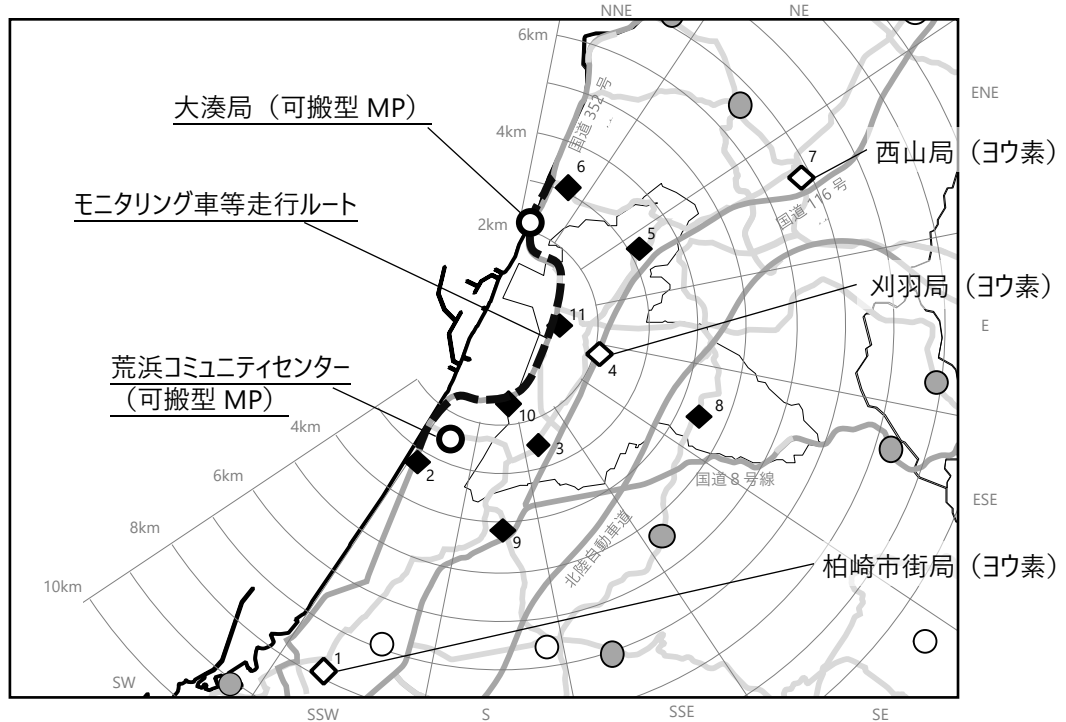
※ 柏崎刈羽原子力発電所周辺のモニタリング情報は、県のホームページで見ることができます。(http://housyasen.pref.niigata.lg.jp/)

測定方法		測定値 ($\mu\text{Sv/h}$)	通常の測定値範囲 ($\mu\text{Sv/h}$)	備考
監視 強化	走行測定	—	0.016～0.16	4月16日 実施なし

2 大気中放射性ヨウ素

測定地点		測定結果 (Bq/m^3)	試料採取期間	備考
常時 監視	柏崎市街局	検出されず	4月15日12時～ 4月16日12時	
	刈羽局	検出されず		
	西山局	検出されず		

測定地点図 ※ 下線部は強化した内容



凡 例

- ◇ モニタリングポスト (ヨウ素も測定)、◆ モニタリングポスト
- ◇1 柏崎市街局 ◆2 荒浜局 ◆3 下高町局 ◇4 刈羽局 ◆5 勝山局 ◆6 宮川局
- ◇7 西山局 ◆8 赤田町方局 ◆9 土合局 ◆10 発電所南局 ◆11 発電所北局
- 可搬型 MP - - - モニタリング車等走行ルート ○ 緊急時局 ● 緊急時用大気モニタ (線量率も測定)

【測定値、測定結果の単位等について】

- ・ $\mu\text{Sv/h}$ (マイクロシーベルト毎時) は、1 時間当たりの人体に対する放射線の影響量を表す線量率の単位です。Gy (グレイ) = Sv (シーベルト) として換算しています。マイクロ (μ) は 100 万分の 1 を意味します。
- ・ 測定結果の大部分は、大地に含まれる自然放射性物質からの放射線量など自然由来によるもので、地点によっても異なります。
- ・ 雨の中にも自然放射性物質が含まれるため、雨が降ると一時的に放射線量が上昇することがあります。一方で、積雪時には、大地からの放射線が積雪により遮られるため、測定値が低下します。
- ・ モニタリング車等の走行測定において、トンネル通過時の測定値はトンネル外と比べ高い値となります。これは、トンネル内では地面からの放射線のほかに、天井及び側面 (コンクリート等からの自然放射線) からの影響が加わるためです。
- ・ Bq (ベクレル) は、放射能を表す単位で、1 Bq では 1 秒間に 1 個の原子が崩壊し、放射線を放出します。人体には天然放射性核種がわずかに含まれていますが、仮に体重が 60kg とすると、その放射能は約 7,000Bq になります。そのほとんどが、カリウム 40 と炭素 14 という天然放射性核種です。
- ・ Bq/m^3 (ベクレル毎立方メートル) は、1 立方メートル (1m^3) (=1000 リットル) の空気中に含まれる放射能を表す単位です。
- ・ 「検出されず」とは、測定機器の検出できる最低値 (0.076 Bq/m^3) 以下の値であることを示します。
- ・ 「監視強化」は、今回の再稼働にあたり、常時監視 (発電所周辺監視調査) に加えて実施するものです。

6号機起動工程に係る状況確認の結果

4月16日(木)、下記のとおり安全協定に基づく状況確認を実施しましたのでお知らせします。

記

- 1 日時 令和8年4月16日(木) 7時00分～12時40分
- 2 確認者 新潟県、柏崎市、刈羽村
おぼらとおる
小原 徹 技術委員会座長(東京科学大学総合研究院教授)
なかしまけん
中島 健 技術委員会委員(京都大学名誉教授)
ながややすのぶ
長家 康展 評価会議委員
(国立研究開発法人日本原子力研究開発機構原子力科学研究所
原子力基礎工学研究センター 炉物理・熱流動研究グループ リーダー)
- 3 内容
 - ・総合負荷性能検査の実施状況
 - ・前回(3月16日)の状況確認以降のプラントデータ、放射線監視の結果等

専門家のコメント

- 小原 技術委員会座長
再稼働以降、いくつかトラブルはあったが、慎重に対応していること、総合負荷性能検査が手順どおりの確に実施されていることを確認できた。
東京電力には、実績を積み重ね県民の信頼を得てほしい。
- 中島 技術委員会委員
トラブルに真摯に対応したことは、運転経験の少ない職員にとっても重要な学習機会となった。
14年ぶりの運転でありブランクがあることから、引き続き緊張感を持って安全最優先で運転にあたってほしい。
- 長家 評価会議委員
放射線モニタリング結果について、異常がないことを確認できた。
不都合な情報があったとしても公開していくことが、県民からの信頼確保に不可欠と考える。